

PCB 廃棄物の早期処理に向けた JESCO の取組

先行する北九州事業エリアでの変圧器・コンデンサーに係る取組を基礎としつつ、早期処理に向け北九州事業エリア以外でも以下の取組を進めている。

【掘り起こし支援（登録促進）】

自治体支援

- ・環境省地方環境事務所や経済産業省産業保安監督部等と連携しながら、PCB 特措法データ、電事法データ、P 協データと JESCO 登録データとのマッチング支援を行っている。
- ・各自治体の要請に応じて、安定器調査方法や仕分けに関する説明の講師を無料派遣する事業を平成 30 年度から実施している。
- ・また、各事業エリアの環境省地方環境事務所と共催で、都道府県政令市の担当者向け勉強会や施設見学会を開催している。掘り起こし事例の共有、アンケートでの不明回答分への対応方法の共有、使用中安定器の調査方法の共有等、各自治体のノウハウや課題が共有される場として、さらには関係者間の横のつながりが促進される機会となるよう取り組んでおり、今後とも各事業エリアで定期的を開催できるよう展開していく計画である。

< 参考 > 自治体担当者向け勉強会の開催実績：

関東 第 1 回 平成 30 年 2 月 1 日、第 2 回 平成 30 年 6 月 6 日、第 3 回 平成 30 年 12 月 7 日

東北 第 1 回 平成 30 年 9 月 3 日

中部北陸 第 1 回 平成 30 年 11 月 13 日

中部東海 第 1 回 平成 30 年 11 月 20 日

近畿 第 1 回 平成 31 年 2 月 6 日

各種説明会・講演会等を通じた掘り起こし支援

- ・経済産業省及び環境省は PCB 廃棄物の適正な処理促進を呼びかけるための説明会を全国で開催しており、JESCO も参加し、変圧器・コンデンサー等高濃度 PCB 廃棄物の発見・掘り起こし事例を紹介するとともに、JESCO 登録手続についての周知を図っている。
- ・全国各地で開催されている日本電気技術者協会や経済産業省の電気主任技術者向け講演会等において、高濃度 PCB 廃棄物の掘り起こし方法や登録手続について説明を行っており、電気主任技術者等に対して啓発と掘り起こしへの協力依頼さらに関係者への周知依頼を行い、現場での掘り起こしの徹底を図っている。

【総ざらい（契約促進）】

保管事業者説明会の開催及び関係機関との連携推進

- ・各事業エリアでは、契約対象となる保管事業者に対して説明会の案内を行い、説明会の場で JESCO 手続き等をわかりやすく解説し契約促進に努めている（開催実績は以下の表のとおり）。
- ・各自治体、環境省地方環境事務所、経済産業省産業保安監督部等の関係機関と情報を共有し連携・協力することで、さらに一層の契約促進を図っている。

< 保管事業者説明会開催実績 >

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
北海道事業エリア	31	22	24	45
東京事業エリア	17	12	11	12
豊田事業エリア	0	0	24	29
大阪事業エリア	20	16	16	2
北九州事業エリア	0	34	40	28
説明会開催実績 全国合計（回）	68	84	115	116

【その他】

処理困難物への対応

- ・超大型変圧器や大型保管容器等、保管場所から搬出が困難な廃棄物、事業所での処理が困難な PCB 油等について、案件毎にプロジェクト体制を組み手厚い技術支援を行うことで、対象物の着実な期限内処理を進めている。

処理対象物の適正化

- ・廃安定器の保管場所での仕分け（非 PCB 廃安定器の分別等）について、保管事業者に DM 発送を行うなど周知徹底及び協力要請を強力に推進している。
- ・北九州及び北海道の JESCO 処理事業所においても、事業所内仕分けを実施することで、プラズマ炉へ投入される処理物をできる限り適正化し PCB 廃棄物の早期処理に努めている。また、北九州事業所においては、平成 31 年 2 月から作業エリアを拡大し、仕分け作業用のテーブルを 1 台増設することで、仕分け対象量の増加を図り、事業所内仕分けの強化を行っている。
- ・小型電気機器の一部について、真空加熱分離装置での処理を順調に進めることで、プラズマ設備の負荷軽減を図っている。

以 上